

(様式3号)

学位論文の要旨

氏名 藤井 博則

〔題名〕

Video-oculographyを用いた追跡眼球運動の定量的評価

〔要旨〕

【背景】追跡眼球運動 (SPEM) の異常は、中枢平衡障害における臨床所見である。近年 Video-oculography (VOG) を用いたSPEMの評価が臨床的に行われている。しかし、検査器具が高価かつ特殊であり日常臨床への応用は困難であり、また、衝動性パターンを決定するための評価基準の検討が不十分という問題点がある。

【方法】当院耳鼻咽喉科で、従来から行われているElectronystamography (ENG) とVOGの両方を同時に検査記録されている患者を後ろ向きに評価した。フリーソフトのImageJを使用して眼の動きを2値化した。これらのデータを統計分析に使用した。評価基準は、衝動性眼球運動の数、平均眼球運動速度、指標と眼球運動速度の差の平均、指標の波形と眼球運動の波形の位相とした。

【結果】正常群 (n=6) と衝動性眼球運動群 (n=6) を比較した。サッカード眼球運動の数、平均眼球運動速度、および目標と眼球運動速度との間の平均差において、正常群と衝動性眼球運動群との間の有意差が同定された。

【結論】VOGをもちいて衝動性眼球運動の定量的評価が可能であり、従来のENGと比較し簡便で検査結果の評価も容易であった。

作成要領

1. 要旨は、800字以内で、1枚でまとめること。
2. 題名は、和訳を括弧書きで記載すること。

学位論文審査の結果の要旨

報告番号	乙 第1091号	氏名	藤井 博則
論文審査担当者	主査教授	神田 隆	
	副査教授	浅井 義久	
	副査教授	山下 裕司	
学位論文題目名 (題目名が英文の場合、行を変えて和訳を括弧書きで記載する。) Video-oculography を用いた追跡眼球運動の定量的評価			
学位論文の関連論文題目名 (題目名が英文の場合、行を変えて和訳を括弧書きで記載する。) Quantitative Analysis of Smooth Pursuit Eye Movement Using Video-Oculography. 掲載雑誌名 Archives of Otolaryngology and Rhinology (http://doi.org/10.17352/2455-1759.000071) 第4巻 第1号 P.30~34 (2018年5月掲載・掲載予定)			
(論文審査の要旨)			
<p>【背景】追跡眼球運動 (SPEM) の異常は、中枢平衡障害における臨床所見である。近年 Video-oculography (VOG) を用いた SPEM の評価が臨床的に行われている。しかし、検査器具が高価かつ特殊であり日常臨床への応用は困難であり、また、衝動性パターンを決定するための評価基準の検討が不十分という問題点がある。</p> <p>【方法】当院耳鼻咽喉科で、従来から行われている Electro-nystamography (ENG) と VOG の両方を同時に検査記録されている患者を後ろ向きに評価した。フリーソフトの ImageJ を使用して眼の動きを2値化した。これらのデータを統計分析に使用した。評価基準は、衝動性眼球運動の数、平均眼球運動速度、指標と眼球運動速度の差の平均、指標の波形と眼球運動の波形の位相とした。</p> <p>【結果】正常群 (n = 6) と衝動性眼球運動群 (n = 6) を比較した。サッカード眼球運動の数、平均眼球運動速度、および目標と眼球運動速度との間の平均差において、正常群と衝動性眼球運動群との間の有意差が同定された。</p> <p>【結論】VOG をもちいて衝動性眼球運動の定量的評価が可能であり、従来 of ENG と比較し簡便で検査結果の評価も容易であった。</p> <p>追跡眼球運動検査を VOG で行うための検査機器のを構築したこと、検査結果の評価方法を確立したのもとして、学位論文として価値があるものとして認められた。</p>			